

# 養命酒製造株式会社

## 第93期 株主通信

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

### 目次

株主の皆様へ	1
生活者の豊かな健康生活への さらなる貢献を目指して	
トピックス	5
財務ハイライト	6
財務諸表	7
株式情報	9
株主アンケート結果ご報告	10
会社概要	10
特集	11
中央アルプスの山麓にある駒ヶ根工場	



# Yomeishu

証券コード：2540



# Yomeishu

## 経営理念

生活者の信頼に応え、  
豊かな健康生活に  
貢献する

経営目標(基本方針)  
(平成19年4月～平成23年3月)  
(第2次中期経営計画)

少子高齢化社会に即した  
成長戦略の実現により  
企業価値を高める

## 株主の皆様へ

生活者の豊かな健康生活への  
さらなる貢献を目指して



代表取締役社長

塩澤 太朗

平素は格別のご高配を賜わり厚くお礼申しあげます。

この度の東日本大震災により被災されました皆様には心よりお見舞い申しあげますとともに、一日も早い復興をお祈り申しあげます。

平成23年6月

## 第93期（平成22年4月1日～平成23年3月31日）の取組み、業績について

当社は、第2次中期経営計画（平成19年4月～平成23年3月）の最終年度に当たり、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、「少子高齢化社会に即した成長戦略の実現により企業価値を高める」ことを基本方針に、中期経営計画の主要戦略である「**新たな成長事業の推進**」に基づく**新商品・新事業の基盤の構築にかかる諸施策**に取り組むとともに、「**養命酒**」の**収益構造の維持**に努めました。

### 第2次中期経営計画

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| ①新たな成長事業の推進     | ④財務体質の改善と向上        |
| ②「養命酒」事業の再構築    | ⑤意識構造の変革と活力ある人材の育成 |
| ③大正製薬株式会社との連携強化 | ⑥CSR（企業の社会的責任）の実践  |

#### 【第93期の業績】

「新たな成長事業の推進」につきましては、事業構造の改革に向け新商品・新事業の各施策に積極的に取り組みました。酒系市場におきまして、平成22年3月に発売したリキュール「ハーブの恵み」に経営資源を集中し、商品認知を図るとともに味のイメージを伝える活動を行い、取扱店の確保とユーザーの獲得に努めました。また、「ハーブの恵み」の周辺市場の取込みを目指し、ハーブを中心とした新酒類商品の開発に取り組みました。長野県の諏訪湖畔における社有地の有効活用を図り、飲食や物販事業を通して生活者の皆様に安全で健康的な食やサービスの提供を目指し平成22年4月に開業した「くらすわ」につきましては、集客に積極的に取り組むとともに、物販における取扱商品の見直しやオリジナル商品の販売チャネルの拡充に取り組みました。

主力商品「養命酒」につきましては、平成22年3月の薬味酒「養命酒」の販売終了に伴い「薬用 養命酒」のブランド強化と効率的な広告の実施に取り組みました。

以上の結果、薬味酒「養命酒」の販売終了による売上高の減少を受ける中、主力商品「養命酒」に加え、新商品「ハーブの恵み」と新事業「くらすわ」の売上により、売上高は11,640百万円（前期比5.5%減）となりました。利益面につきましては、新商品「ハーブの恵み」の商品認知のための広告宣伝や新事業「くらすわ」の開業に伴う費用等を投入する一方、計画的な販売促進活動や経費節減に努め、営業利益は821百万円（前期比48.9%減）、経常利益は1,049百万円（前期比42.9%減）、当期純利益は705百万円（前期比34.1%減）となりました。

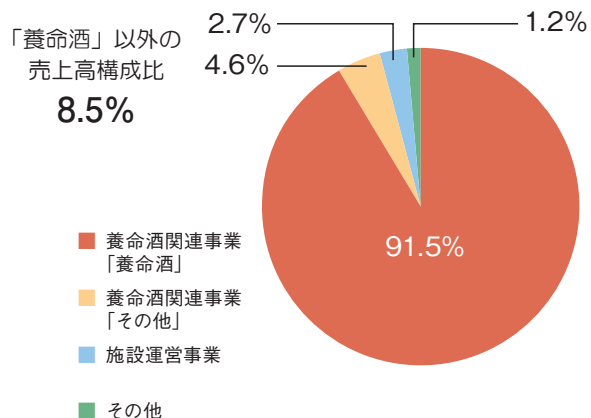
## 第2次中期経営計画の総括と課題

### 成 果

\* 新商品「ハーブの恵み」  
新事業「くらすわ」による  
将来の成長に向けた基盤を構築

\* 「養命酒」以外の売上高の構成比が  
**8.5% (約10億円)**

平成23年3月期 売上高構成



### 成長に向けた課題

- \* 新商品「ハーブの恵み」を基盤とした更なる成長への取組み
- \* 新事業「くらすわ」の事業領域の拡大
- \* 海外事業の推進
- \* 「養命酒」の安定的な収益の確保



新商品「ハーブの恵み」



新事業「くらすわ」

## 新たな中期経営計画について

平成23年3月11日に発生しました東日本大震災の国内経済への直接的な影響や電力不足の長期化など福島原子力発電所の事故による影響も懸念され、先行きは極めて不透明な状況にあります。

このような厳しい経営環境の中、平成24年3月期におきましては、「養命酒」をはじめ、既存の商品及び事業による収益基盤の維持、確保を経営の最重要課題として経営資源を集中し、足許を固める1年と位置付け、新たな中期経営計画についてはその実施時期及び諸施策を再検討するとともにその準備に積極的に取り組んでまいります。

新たな中期経営計画におきましては、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、「持続的成長に向けた事業構造の変革」を基本方針とし、6つの方針の下、具体的施策の策定に取り組んでまいります。

### 平成 24 年3月期 (第 94 期)

- ① 既存の商品及び事業による安定的な収益基盤の確保
- ② 新規事業領域の拡大と成長性の確保に向けた準備

### 新たな中期経営計画の方針

基本方針：持続的成長に向けた事業構造の変革

- ・ 新規事業領域の拡大と成長性の確保
- ・ 「養命酒」関連事業による安定的収益基盤の確保
- ・ 大正製薬株式会社との業務提携強化
- ・ 保有資産の見直しと積極的活用
- ・ 経営基盤の強化、高度化
- ・ 社会的使命への取り組み

## 株主の皆様へメッセージ

新たな中期経営計画の方針の下、厳しい経営環境の変化に対応すべく経営基盤を強化し、新規事業領域の拡大と成長性の確保や養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築を着実に実行することで持続的な成長を図ってまいります。

今後もお客様の満足と信頼を一番に考え、健康生活に貢献できるよう、「養命酒」をコアとした、高い安心と社会に求められる有用な商品やサービスの提供に努め、コーポレート・ガバナンス及びコンプライアンス体制の更なる強化を図るとともに企業の社会的責任を果たし、株主各位のご期待にお応えする所存であります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

# トピックス

## 「ハーブの恵み」

### 東洋ハーブの味と香りで癒しを演出します

「ハーブの恵み」はナツメ、シナモン、クコの実など13種類のハーブをバランスよく配合したココロとカラダの癒しのお酒です。おかげさまで発売から1年を過ぎ、多くの皆様にご愛飲いただいております。

ロックやストレートはもちろん、いろいろな楽しみ方ができます。今回はこれからの季節におすすめの飲み方をご紹介します。

クローブ	甜杏仁	カルダモン	高麗人参	桑の実	クコの実
					
心を和ます東洋的な香り			体にうれしい自然の恵み		
シナモン	花椒	クロモジ	リュウガン	ナツメ	サンザシ
					
		ネムノキ			
					



200ml  
希望小売価格(税込)  
378円



700ml  
希望小売価格(税込)  
1,281円

■ソーダ+レモン ハーブの恵み：ソーダ=1：3  
しゅわしゅわとしたソーダがハーブの華やかな香りを一層ひきたててくれます。レモンスライスを加えて、爽やかな風味をお楽しみください。



## 「くらすわ」食を通して皆様の健やかな暮らしに貢献したい

開業から1年が経過し、ショップでは信州の美味しい物や地元企業と共同開発したオリジナル商品など魅力のある商品がさらに充実しています。ペカリーでは信州や旬を感じる素材を使ったパン、イートインのコーナーではソフトクリームやオリジナルドリンクなどお客様に喜んでいただける商品を取り揃えています。

レストランでは「くらすわ」オリジナルの信州十四豚と旬素材を使った料理、季節を感じるデザートなどを充実

させ、食事会や各種宴会など、お客様の様々なご要望にお応えする料理を提供しています。

また、屋上スカイガーデンは諏訪湖を一望でき、8月から9月上旬まで開催される諏訪湖の夜を彩る花火を観覧する最高のロケーションとなっています。

お近くにお越しの折には、ぜひ一度お立ち寄りください。

※ 8/15、9/2は花火大会特別観覧席として完全予約制となっています。詳細につきましては当社ホームページをご覧ください。



地元企業と共同開発したオリジナル商品



信州十四豚と旬素材を使った料理



諏訪湖を一望できる屋上スカイガーデン



「くらすわ」  
長野県諏訪市湖岸通り3丁目1-30  
TEL 0266-52-9630 (代表)  
0266-52-9640 (レストラン)  
ホームページURL  
<http://www.clasuwa.jp/>

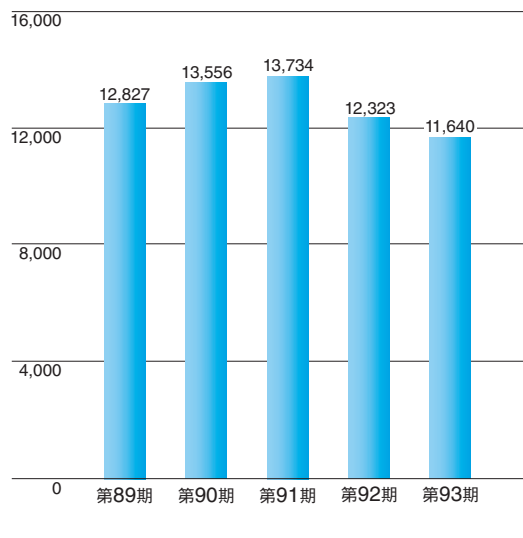
お車でのお越しのお客様 (駐車場有)  
東京方面  
新宿 (首都高速4号)  
→高井戸 (中央自動車道)  
→諏訪IC (諏訪湖方面約15分)

東海・関西方面  
大阪 (名神高速)  
→名古屋・小牧JCT (中央自動車道)  
→諏訪IC (諏訪湖方面約15分)

# 財務ハイライト

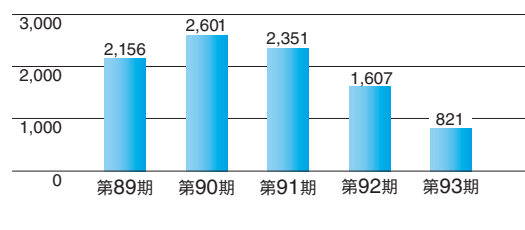
(単位:百万円)

## 売上高



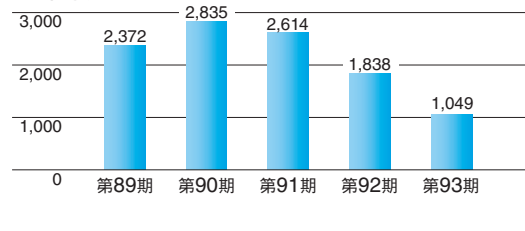
(単位:百万円)

## 営業利益



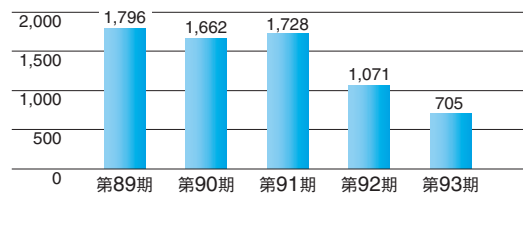
(単位:百万円)

## 経常利益



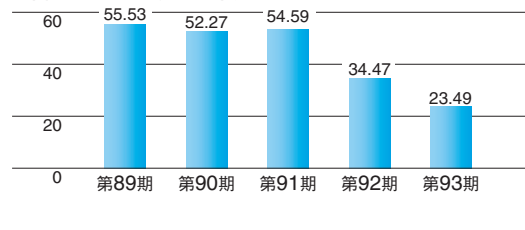
(単位:百万円)

## 当期純利益



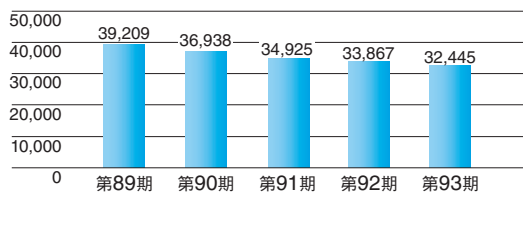
(単位:円)

## 1株当たり当期純利益



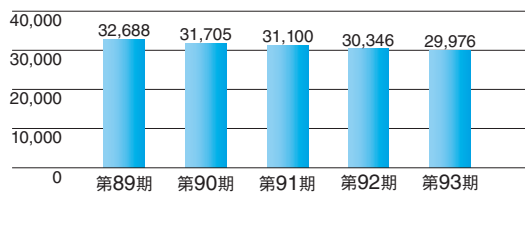
(単位:百万円)

## 総資産



(単位:百万円)

## 純資産



# 財務諸表

## ポイント

### 貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前事業年度 (平成22年3月31日)	当事業年度 (平成23年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	9,617	7,685
固定資産	24,250	24,760
有形固定資産	7,942	7,333
無形固定資産	138	68
投資その他の資産	16,169	17,358
資産合計	33,867	32,445
<b>負債の部</b>		
流動負債	2,247	1,446
固定負債	1,273	1,022
負債合計	3,521	2,469
<b>純資産の部</b>		
株主資本	29,893	30,057
資本剰余金	1,650	1,650
資本剰余金	676	676
利益剰余金	30,447	30,612
自己株式	△2,880	△2,881
評価・換算差額等	452	△81
その他有価証券評価差額金	452	△81
純資産合計	30,346	29,976
負債純資産合計	33,867	32,445

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 貸借対照表

【総資産】 前期末に比べ1,422百万円減少し、32,445百万円となりました。

【流動資産】 前期末に比べ1,931百万円減少し、7,685百万円となりました。これは主に運用資産の更新により有価証券が1,095百万円、売上高の減少により売掛金が283百万円それぞれ減少したことによるものです。

【固定資産】 前期末に比べ509百万円増加し、24,760百万円となりました。これは主に減価償却等により有形固定資産が609百万円、投資有価証券が債券を取得した一方で、保有株式の時価評価の低下等により13百万円それぞれ減少し、長期預金が1,100百万円増加したことによるものです。

【流動負債】 前期末に比べ800百万円減少し、1,446百万円となりました。これは主に未払費用が607百万円、税引前当期純利益の減少に伴い未払法人税等が143百万円それぞれ減少したことによるものです。

【固定負債】 前期末に比べ251百万円減少し、1,022百万円となりました。これは主に保有株式の時価評価の低下に伴い繰延税金負債が258百万円減少したことによるものです。

【純資産】 前期末に比べ370百万円減少し、29,976百万円となりました。これは主に当期純利益705百万円の計上による増加、配当金540百万円の支払いによる減少、その他有価証券評価差額金533百万円の減少によるものです。

### 損益計算書

【売上高】 薬味酒「養命酒」の販売終了による売上高の減少を受ける中、主力商品「養命酒」に加え、新商品「ハーブの恵み」と新事業「くらすわ」の売上により、売上高は11,640百万円（前期比5.5%減）となりました。

【利益】 新商品「ハーブの恵み」の商品認知のための広告宣伝や新事業「くらすわ」の開業に伴う費用等を投入する一方、計画的な販売促進活動や経費節減に努め、営業利益は821百万円（前期比48.9%減）、経常利益は1,049百万円（前期比42.9%減）、当期純利益は705百万円（前期比34.1%減）となりました。

### キャッシュ・フロー計算書

【営業活動によるキャッシュ・フロー】 営業活動の結果増加した資金は、1,297百万円（前期比28.8%減）となりました。これは主に税引前当期純利益1,117百万円、減価償却費805百万円、売上債権の減少額296百万円、たな卸資産の減少額131百万円、未払費用の減少額603百万円及び法人税等の支払額504百万円等によるものです。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】 投資活動の結果減少した資金は、1,102百万円（前期比51.0%減）となりました。これは主に定期預金の預入（預入と払戻の純額）による支出1,030百万円、製造設備を中心とした有形固定資産の取得による支出192百万円等によるものです。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】 財務活動の結果減少した資金は、540百万円（前期比70.9%減）となりました。これは主に配当金の支払額539百万円によるものです。



## 損益計算書（要旨）

（単位:百万円）

科目	前事業年度	当事業年度
	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
売上高	12,323	11,640
売上原価	3,807	3,933
売上総利益	8,516	7,706
販売費及び一般管理費	6,909	6,885
営業利益	1,607	821
営業外収益	255	245
営業外費用	24	17
経常利益	1,838	1,049
特別利益	0	96
特別損失	73	27
税引前当期純利益	1,765	1,117
法人税、住民税及び事業税	697	366
法人税等調整額	△2	45
当期純利益	1,071	705

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位:百万円）

科目	前事業年度	当事業年度
	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,822	1,297
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,251	△1,102
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,856	△540
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△2,285	△345
現金及び現金同等物の 期首残高	5,459	3,174
現金及び現金同等物の 期末残高	3,174	2,829

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書（要旨）

（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）（単位:百万円）

科目	残高及び変動事由	金額
株主資本		
資本金	前期末残高及び当期末残高	1,650
資本剰余金		
資本準備金	前期末残高及び当期末残高	404
その他資本剰余金	前期末残高及び当期末残高	271
資本剰余金合計	前期末残高及び当期末残高	676
利益剰余金		
利益準備金	前期末残高及び当期末残高	412
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	前期末残高 当期変動額 固定資産圧縮積立金の取崩 当期末残高	15 △1 14
別途積立金	前期末残高 当期変動額 別途積立金の積立 当期末残高	28,881 550 29,431
繰越利益剰余金	前期末残高 当期変動額 固定資産圧縮積立金の取崩 別途積立金の積立 剰余金の配当 当期純利益	1,138 1 △550 △540 705 754
利益剰余金合計	当期末残高 前期末残高 当期変動額	754 30,447 —
固定資産圧縮積立金の取崩		—
別途積立金の積立		—
剰余金の配当		△540
当期純利益		705
自己株式	当期末残高 前期末残高 当期変動額 自己株式の取得 当期末残高	30,612 △2,880 △1 △2,881
株主資本合計	前期末残高 当期変動額 剰余金の配当 当期純利益 自己株式の取得	29,893 △540 705 △1 30,057
評価・換算差額等	当期末残高	
その他有価証券評価差額金	前期末残高 当期変動額 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） 当期末残高	452 △533 △81
評価・換算差額等合計	前期末残高 当期変動額 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） 当期末残高	452 △533 △81
純資産合計	前期末残高 当期変動額 剰余金の配当 当期純利益 自己株式の取得 株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	30,346 △540 705 △1 △533 29,976

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株式情報

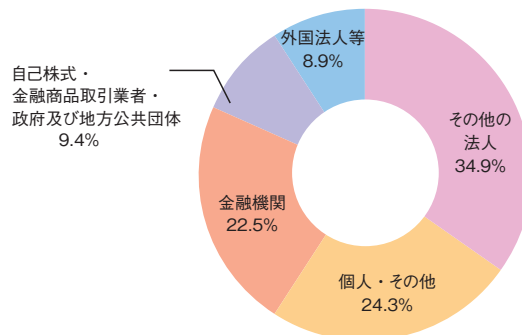
## ■ 株主メモ

証券コード	2540
一単元の株式数	1,000株
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
同総会基準日	毎年3月31日
配当金受領株主確定日	毎年3月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告掲載新聞	日本経済新聞

## ■ 株式の状況 (平成23年3月31日現在)

発行可能株式総数	132,000,000株
発行済株式の総数	33,000,000株
株主数	3,243名

## ■ 所有者別株式分布状況 (平成23年3月31日現在)



## ■ 株式に関するお手続きについて

### ① 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○ 支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○ 株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	株主名簿管理人	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
○ 上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等 (*1) にお問い合わせください。	

(\*1) 株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

### ② 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>○ 単元未満株式の買取請求</li> <li>○ 住所・氏名等のご変更</li> <li>○ 特別口座の残高照会</li> <li>○ 配当金の受領方法の指定 (*2)</li> </ul>	特別口座の口座管理機関	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (*3) 電話 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○ 支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○ 株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	株主名簿管理人	<b>【手続き書類のご請求方法】</b> ○ 音声自動応答電話によるご請求 電話 0120-244-479 (通話料無料)  ○ インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

(\*2) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方法はお選びいただけません。  
 (\*3) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

## 会社概要 (平成23年3月31日現在)

社名	養命酒製造株式会社 YOMEISHU SEIZO CO.,LTD.
本店所在地	〒150-8563 東京都渋谷区南平台町16番25号 電話 03-3462-8111 FAX 03-3462-8340 URL <a href="http://www.yomeishu.co.jp/">http://www.yomeishu.co.jp/</a>
事業所	大阪支店、福岡支店、 駒ヶ根工場、中央研究所、 施設運営事業部（くらすわ）
設立	大正12年(1923年)6月20日
資本金	16億5,000万円
上場	東証市場第1部、名証市場第1部
事業内容	・「養命酒」の製造販売 ・酒類、医薬品等の製造、販売 ・飲食店および売店の経営
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	262名

(平成23年6月29日現在)

役員	代表取締役会長	川村 昌平
	代表取締役社長	塩澤 太郎
	常務取締役執行役員	竹村 彰司
	常務取締役執行役員	小島 義久
	常務取締役執行役員	松澤 勝彦
	常務取締役執行役員	田中 英雄
	取締役執行役員	唐澤 久雄
	取締役執行役員	北園 芳種
	取締役執行役員	吉松 敬雄
	取締役執行役員	大森 勉
	常勤監査役	矢部與四男
	常勤監査役	中川 博之
	監査役	笠原 孟
	監査役	井出 正一
	執行役員	宮下 久宜
	執行役員	鹿養 真人
	執行役員	神林 敬

### ■ 上位10名の株主 (平成23年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)
大正製薬株式会社	6,600
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,539
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,487
株式会社 八十二銀行	1,300
トア再保険株式会社	1,096
大同生命保険株式会社	603
株式会社 三井住友銀行	529
キッコーマン株式会社	442
株式会社 十八銀行	423
ブルドックソース株式会社	410

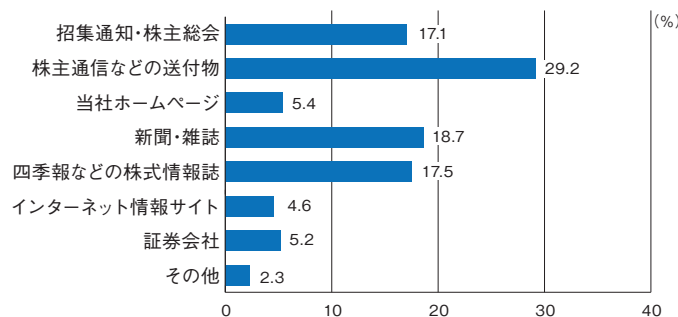
(注) 当社は、自己株式を2,953千株保有しておりますが、上記上位10名の株主からは除外しております。

## 株主アンケート結果ご報告

昨年12月に株主の皆様のご意見を伺うアンケートを実施いたしました。大変多くの皆様にご協力をいただき、誠にありがとうございました。ここではアンケート結果の一部をご報告いたします。株主の皆様からいただいた貴重なご意見は、今後のIR活動の参考とさせていただきます。

(ご回答332名様、ご回答率10.1%)

### ◆ 当社の情報をどのような手段で入手されていますか？ (複数回答可)



## 中央アルプスの山麓にある駒ヶ根工場

～「養命酒」「ハーブの恵み」を生産する駒ヶ根工場をご案内します～

駒ヶ根工場は、毎年約10万人の皆様にご見学いただいております。「養命酒」や「ハーブの恵み」の瓶詰や包装の製造ラインはもちろん、「養命酒健康の森」では養命酒の歴史や生薬を展示した記念館やカフェ、自然散策が楽しめます。

また、夏休みシーズンには、ファミリー体験プログラムとして、工場内の樹木の間伐材や生薬、自然素材を材料とした生薬と自然に親しむクラフトを体験することができます。



クラフトの作品

記念館のショップでは、限定の健康ブレンド茶やハーブのお酒を取り揃えています。また、併設の森の中のカフェ「Café Healing Terrace」では、からだにやさしいハーブを使用したオリジナルのスイーツやブレンド茶をゆっくりと楽しめます。

当社では、製品の生産環境を一般公開することで安心・安全をお伝えするとともに、「養命酒健康の森」を通じて地域と環境に根ざし、お客様へのおもてなしの心を実践する場として位置付けており、日々取り組んでおります。

※ファミリー体験プログラムの開催、内容につきましては、当社ホームページでご確認ください。



カフェ「Café Healing Terrace」とオリジナルスイーツ（左から「駒ヶ根工場スペシャルゼリー」、「紅花とショウガの白玉ぜんざい」、「わらび餅ウショウ黒蜜添え」）

## 工場見学のご案内

### 列車をご利用の場合

#### 東京から

- 中央本線（特急あずさ）  
岡谷駅でJR飯田線に  
乗換  
駒ヶ根駅で下車。

#### 名古屋から

- 中央本線（特急）  
塩尻駅で岡谷方面行き  
に乗換  
さらに岡谷駅でJR飯田  
線駒ヶ根方面行きに乗換  
駒ヶ根駅で下車。

駒ヶ根駅からタクシーで  
約15分。

### お車をご利用の場合

#### 中央自動車道

駒ヶ根インターチェンジから車で約10分。  
（案内看板があります）



「養命酒」や「ハーブの恵み」の製造工程や工場の自然の四季をハイビジョンで撮影した映画を大型スクリーンでご覧いただき、「養命酒」や「ハーブの恵み」の製造ラインをご案内いたします。

ご見学のお申し込み・お問合わせ

養命酒製造株式会社 駒ヶ根工場  
長野県駒ヶ根市赤穂16410

TEL 0265-82-3310

FAX 0265-82-6414

ホームページ <http://www.yomeishu.co.jp/>



養命酒製造株式会社

東京都渋谷区南平台町16番25号

TEL : 03-3462-8111 FAX : 03-3462-8340